

## 来年度のゴールイメージ〔事業2年次〕

架け橋プログラムの  
取組を通して

幼児教育の「学びの芽」 から  
児童教育の「学びの双葉」 へ

実施・検証の年へ

### 3つの観点

- 1 カリキュラムの実施・(検証・改善) ←子どもへの関わり、子どもの育ち
- 2 子ども同士の交流
- 3 保小職員同士の研修・交流

情報・支援

# 来年度のゴールイメージ〔事業2年次〕

何を？

どのように？

実施・検証の年へ

## 3つの観点

### 1 カリキュラムの実施（検証・改善）

- ① 学校経営・保育所経営の一つの柱に、  
「保小の学び・生活の接続と連携」を位置づける
- ② 授業や活動を振り返る（「カリキュラム振り返りシート」を別途作成）
- ③ 活動視察と情報提供
- ④ （改善箇所を拾い、改善）  
→ 施設全体・町全体の取組へと発展させる

### 3つの観点

## 2 子ども同士の交流

子ども同士の遊びや学び、触れ合いや楽しさのある交流の実施

### 3つの観点

## 3 保小職員同士の研修・交流

- ① 校内・施設研修の1コマとして位置づける(別途資料を情報提供します)
- ② 保小の合同研修を実施